

洋二中だより

学校だより

平成15年12月19日  
横浜市立洋光台第二中学校  
校長 板橋 剛



今年もさまざまな出来事がありました。また、多くの人との出会いがありました。よかったことも、悪かったことも、それらすべてにかかわり合いながら、私たちは少しずつ成長していくのでしょうか。こうして、なんとか無事に一年を終えることに感謝したい気持ちです。

冬休みは、年末年始を中心とした休みです。年末は、すすはらい、おおはらい、歳市などの行事があります。年越しそばから新年となり、お雑煮や神仏へのお参り、書き初め、双六、カルタ取り、七草などさまざまな行事があります。その一つ一つは、日本人の生活の知恵から生まれたものです。

論語に「温故知新」ということばがあります。私たちは新しいことは知ろうとしますが、古きものは究めることが少なかったように思えます。年末年始は、子どもにとって古きをたずねる非常によい機会でもあります。そのためには、親や教師がまずこれらの行事の意義を正しく把握していなければなりません。また、これらの行事を通して、家事の手伝い、訪問時の礼儀、家族との団らんの習慣などを身につけさせることが大切です。こうして、子どもは常識のある大人として成長するのです。

年末年始の休みにあたって、有意義な生活が過ごせるように、留意したい項目は次の通りです。ご協力お願いします。

### ▲新年の抱負や目標を持たせる

年末年始は、一年のしめくくりと、新しい年の門出です。除夜の鐘の音を聞きながら、家族でこの1年間を振り返り、どうであったかを語り合うことは意義のあることです。そして、元日は、新しい気持ちになって今年の豊富や目標を立てさせることが大切なことです。豊富や目標は、抽象的でなく、具体的で実現可能なものを考えさせることがポイントとなります。また、松の内（1月7日まで）は、神社、お寺にお参りし、神仏の前で一年間の誓いを立てる。厳粛な気持ちで、願い事や一年間の決意をする。お参りは子どもだけでなく、できたら家族と一緒にし、正月のよい思い出もつくってあげたいものです。さらに2日の書初めがあります。新年の新鮮な気持ちで、用紙に向かって抱負などを書くのもよいと思います。

小さいうちから、このような行事に参加させ、一年間のまとめ、反省、抱負などの習慣をつけることは、健全育成の面からも非常に大切なことです。

## ▲家の手伝いをさせる

年末年始は、掃除、来客など家族にとっても大変忙しい時でもあります。家族の一員として、その子にあった仕事の分担、役割をもたせ、家族に協力する習慣を自発的につけさせたいものです。年末には、さっぱりした気持ちで新年を迎えるため、家の内部のすすやほこりをはらうすすはらい、門松、しめ飾り、床の間飾りなどの飾りつけやお節料理をつくるなどたくさんの作業があります。また、年始には、雑煮、七草がゆ（セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ）をつくるなど、古くからの行事があります。これらの行事の意義を教え、手伝いをさせたいものです。

## ▲家族の団らんに参加させる

正月には、毎日の忙しさを忘れ、雑煮や七草がゆを食べながら、あるいは、百人一首、トランプ、カルタ、双六、副笑い（家族そろってテレビ視聴ということでもよい）などで、家族の団らんをしたいものです。そんな中で、日頃うとまれていた親と子の心の通じ合いも生まれてくると思います。とくに、百人一首は、家族で古典のエッセンスにふれることができます。家族が得意な句を暗誦したり、上の句を読んだら、下の句が思い出せるよう練習するとカルタ会も盛り上がり、また学校の百人一首大会でも良い成績がとれるようになると思います。百人一首の発展として、身近な家族を題材として、パロディ調の和歌をつくることを試みるのも、家族の団らんの楽しさが増し、正月のよい思い出になるのではないのでしょうか。

百人一首、トランプ、家族ゲームなどをきっかけに家族の団らんを取り戻すよい機会です。

## ▲行事を通しての基本的生活習慣作り

年末年始には、来客や訪問が多いので、きちんとした挨拶や正しい言葉づかいなどの礼儀や心づかいを育てるよい機会です。また、年賀状の意義や書き方、それにまつわる話などをし、きちんと書かせたいものです。とくに友達に出すだけでなく、小学校の先生やお世話になった人など、近況を書き加えて出すことなども教えたいたいです。正月はとかく来客や訪問した際に祝い酒などといって、子どもにビールや酒をすすめることがあります。こんな時に礼を欠いてはいけなやか、正月だから仕方がないと見逃したりすると、それが契機となって、飲酒の癖や自信がつくことになりがちです。中学生であることや未成年者であることなどを理由にあげ、毅然とした態度で断ることが大事です。

また、お年玉をもらえる機会が多いです。もらったお金で、食べ物やゲームセンターで浪費することのないよう家庭で指導しなければなりません。できるだけ貯金をするようにさせたり、その使いみちを明

らかにする習慣をつけさせることが大切です。もらったお金で、盛り場などへ行きがちです。とかくこのような場所では、たかられたり、また、非行に傾く子どもが多いなど毎年のデータが示しています。そこでこのような場所には、友達同士で生かせないで、社会的に責任の負える人と一緒に行かせる。こうすることが危険を未然に防ぐことになります。親は、子どもの行為をあたたく見守ると同時に正しくまた、厳しくみることが大切です。

正月は、生活が不規則になりがちです。夜更かし、朝寝坊、睡眠不足、暴飲暴食、運動不足、外出から帰った時のうがいなど休み中の健康に留意することも忘れてはいけません。

## 詩

### おちばたき

矢川 澄子



おおきなは ちいさいは  
ちってくる ふってくる  
ばらばらとまたひとしきり  
たちのぼるけむりのかなた  
きぎのこずえにすけるそら

「はるなつあきふゆ」福音館書店（1984）

☆「おちばたき」によせて

高く広がった青空にのぼっていく煙。落ち葉焚きの煙が目立つようになる歳末のころ。煙を見るたび、一年のほこりを落とし、庭の落ち葉をはいて火をつける大掃除の光景が浮かんできます。

落ち葉焚きってなんだか心がはずみます。なんでだろうと、ふと思えます。火の熱さなのかな？ どんどん葉っぱの形がなくなっていくおもしろさかな？・・・いろいろ思いますが、ふと「火」そのものに対してのなんとも言えない感情に気づきます。

火って、なんとも不思議なもの。怖いよううれしいうような……。落ち葉焚きをしながら、自然と「火」そのものを見つめていたりする自分がいます。消えないようにと思って、また落ち葉を集め、そして足していく・・・いつしか「いつまでも消えないで」という願いを持ってようです。それは火の中にいろんな思い出を見つめているかからかもしれません。

## 親子でスポーツ

是非、**お父さん方の参加**をお待ちしております。

- ・日 時 平成16年1月17日（土）午前10時より
- ・場 所 洋光台第二中学校
- ・内 容 「ケガ防止のためのストレッチ指導」  
「ソフトボール」および「インディアカ」

参加される方は担任に、申し出て下さい。

---

## 生徒会役員選挙

12月12日（金）に生徒会役員選挙の立会演説会と選挙が行われました。そして、次の新しい執行委員が決まりました。

- 
- ・執行委員長 2-3
  - ・副執行委員長 2-2 |  
1-2
  - ・書記・会計 2-1
  - ・書記 1-1
  - ・学級委員長 2-2
  - ・環境委員長 2-3
  - ・広報・図書委員長 2-2
  - ・放送委員長 2-3

がんばってください

---

良い年を、お迎えください。

また、来年もよろしくお願ひします。